

(仮称)

# 自然ふれあいの森

## ニュースレター 第07号

平成15年11月30日発行 発行:堺自然ふれあいの森委員会

### 堺自然ふれあいの森委員会報告

第19回/平成15年10月26日(土)  
河辺いきもの森視察研修/平成15年10月28日(火)  
第20回/平成15年11月29日(土)

ようやく秋らしくなってきた10月25日(土)、第19回堺ふれあいの森委員会を開催しました。今回は、通常会議の後、林床イメージについてのアンケート調査を、様々な森のライドを見ながら行いました。多くのメンバーが初めての経験だったことから少し戸惑いもありましたが、本



格的な林床イメージについてのアンケートといういい体験ができました。また、午後からは、里山研修ということで、草刈機、チェーンソー、チップパーなどの実地講習を行いました。草刈機の正しい使い方、チェーンソーの使い方、あっという間に木を粉碎してしまうチップパーの様子を見ながら、実際にメンバーもそれぞれの道具や機具を体験しました。絶好の天気にもめぐまれた、その3日後の28日(火)、八日市市にある河辺いきもの森への視察研修を行いました。ここは、4月のイベントにゲストパネラーとしておこしいただいた丸橋さんがいらっしゃるところ。メンバー全員、胸をはずませての参加となりました。現地に到着後、丸橋さんの説明で園内を案内していただき、ミニ作業体験の後、遊林会との交流会で、私達の率直な質問に答えていただきました。園内の見学も



ミニ作業体験も質疑応答も、今後の参考になる事をたくさん感じることでできた、充実した視察研修となりました。(中面のレポートもご覧ください)  
20回目を数えることになった11月29日(土)は、先日の視察研修での経験をいかした作業を、と十分に気合いが入っていたにもかかわらず、外はあいにくの雨。午後からの作業は残念ながら中止となってしまいました。12月は、今年最後の委員会。会議の後には、親睦を深めるための忘年会も用意されています。今年の締めくくりとなる、いい会議にしたいものです。

### 里山実地講習

#### 草刈機

- 100回転/秒の高速回転、半径5m以内は危険区域。
- ケガの大半は目への異物直撃、必ずゴーグル使用のこと。
- 刃は左回転するので右から左にゆっくりとリズムカルに草を寄せ、
- 腰より上の部分は刈らない。
- エンジン止めたら刃を下におき回転を止める。
- 刃の固定は逆ネジ(25mm)のため、ゆるむとガタつく仕掛けになっている。



#### チェーンソー

- 20m/秒で回転、刃幅広く肉をえぐるので治療が難しく慎重な安全対策が必要。
- 足と膝で固定し一度初撃させてからエンジン始動、回転は全回転かアイドリング。
- 機械の自重で切れる。体の重心を落として、押さえないで刃の真中より手前側で切る。
- 開伐作業の際には必ずヘルメット着用のこと。



#### チップパーシュレッダー

- 大型(軽油) / 小型(ガソリン)
- 枝が跳ね返るので挿入口の真後ろに立たない。
- 挿入口の中を絶対に覗かない。
- 乾燥した枝を入れること。
- 横ゼサは1.5、通常枝は1/3まで減量できる。
- チップはマルチング利用、雑草抑制、保水に効果あり。
- 糸状菌の作用で耐火性が向上する。



# 里山研修 「河辺いきものの森」視察

平成15年10月28日(火)

園内見学 10:30~11:30

河辺いきものの森の職員、丸橋さんより本日の研修予定の説明と注意事項を聞き、園内の一部を丁寧にご案内いただきました。どの場所も、どの施設も管理、保全が行き届いており、今後の堺自然ふれあいの森委員会の活動に、とても参考になる見学となりました。



平日のお昼前ということもあって、近くの幼稚園児がお弁当を持って敷席に来ていました。



生物の多様性や景観面から伏流水をポンプアップし、防水シート等で人工的に池や川を作っています。



平場で竹のチップを撒いた道は、高枚路上部が練習に使用するくらいクッションがよくとても歩きやすい。



園内のところどころにオブジェがあり、ネイチャーゲームなどに利用されています。



車椅子に配慮した木道。所々にグレーチングを入れて地味への採光と排水を確保しています。



減竹の林。この森では、しっかりとゾーニングを行い、それにもとづいた保全、管理を行っています。



森を上から見ることが出来る林冠トレイル。とても心地のいい眺めでした。木の役割を減らすため、支柱は一本。



人工池に飛来する水鳥を観察する水鳥観察小屋。カワセミなども飛来してきます。



園内のあちこちに屋外サインボードがあり森のことを楽しく知ることができます。



炭焼き名人が作った竹炭。ここには、料理の名人など他にもいろいろな名人がいます。

ミニ作業体験 11:30~12:30

今回、ミニ作業体験をさせていただいた場所は「ケヤキの林」。近くには水辺のビオトープもあり、様々な生き物が生息する場所。野いちごやトンボの姿も見つけることができました。ここでは、ケヤキやどんぐりのなる木など、実生の木を育てるためにセイタカアワダチソウなどを刈り取る作業と竹で作った若木の表示杭を打ち込んでいく作業を体験しました。



ケヤキの林



水辺のビオトープ



若木の表示杭は、竹を1mほどの長さに切り、それを6つに分割し、節を削ってできあがり。



作業をしている向こう岸には、近く幼稚園児たちの姿が。ほのぼのとした気分になります。



竹の作業の際は、木製の台を使用します。怪我には、十分注意しましょう。



苔類は茎が硬く傷んでしまうので、大鎌(ナギナタモドキ)は草類のみに使用します。



先程作った表示杭をみんなでどんどん打ち込んでいきます。

遊林会との交流会(質疑応答) 13:00~14:30

- 活動は第2土曜日(ボランティア参加者約50名)と第4水曜日(ボランティア参加者約15名)が定例で、他に森の居酒屋(活動相談ミーティング)を第1水曜日のPM7:00~行っており、この場で視察を深め、ボランティアの特技を聞き出す等、活動の活性化を図っている。
- ボランティアの活動が発端であり、後に施設を充実させていった。NPO法人化は、特に必要性がなく、見送っている。
- アセスに実績のあるコンサルタントに植生図を作ってもらい、自然遷移エリア、竹林を消して復元するエリア等に区分けを行い、作業→調査→状況に合わせた作業の繰り返し。萌芽更新は面で行わないと、日照が不足し困難という結論に至っている。
- 基本的には自然植生を優先しているが、子供の遊ぶ広場などは落葉樹を主体としている。
- 昨年度来場者は2万4千人で、対応したのはその約半数。もてなしの心を重んじている。
- ボランティアの特技を活かした活動。(建築、焼き鳥、菊、焼き芋、炭焼、きのこ、きりぎりす、芸術などの名人がいる)
- 有償ボランティアがゲストに応じた新鮮なクイズを作成→リピーターを獲得している。
- ボランティアの食事は有償ボランティアが木燃料を用いて調理。
- 企業等からの寄付金、道具、図書などの寄付も受けている。また、会費制ではないので、会員以外の参加も随時受け付けている。(作業メニューが用意されている)
- 保険は、無記名で加入(十数万円/年)。ボランティアの意識は、自己責任。森の屋外照明はしていない。球技、ラジコン、犬の散歩禁止。
- PR活動は、マスコミを利用している。
- 団体受入の際は、一度視察に来てもらい、研修の目的や内容を考えてもらうことにしている。
- スズメバチや漆などの少々の危険は許容すべきと考えている。園路付近の蜂の巣は除去するが、それ以外はしない。ただし、人が刺された際の正しい処置を知っておくことは大切。
- 議論だけではだめ、意思と想いを結実することが大切。行政は、安い労働力としてではなく、ボランティア精神を尊重すべき。



熱心にお話ししていただいた八日市市の職員の方。厳しくもやさしくもある人柄を感じました。

# 「河辺いきものの森」

森の利用拠点となるネイチャーセンターや作業小屋。(仮称)自然ふれあいの森でも必要な施設が河辺いきものの森にもありました。そんな施設を少しだけ紹介してみます。



森の利用拠点、ネイチャーセンター。ふれあいの森でいう、森の館にあたります。



ネイチャーセンターは、鉄骨造1階建て。外観は、木で自然環境とよくマッチしています。



ネイチャーセンターには、河辺林を解説するコーナーや森の情報コーナー、書籍のコーナーなどがあります。



ネイチャーセンター隣の作業小屋では、いろいろな作業やオリエンテーションなどを行います。



ネイチャーセンターの裏にある広場は、なんと以前は全部竹藪だったとか。信じられますか？



作業小屋の近くにあった竹炭用の竹。炭焼き名人がこれで竹炭を作ります。



ネイチャーセンターの中にある、里山の自然についてのボード。わかりやすい説明がされています。



作業小屋の近くには、製作中のピザ窯が。こんなものまで作ってるんですね。



ネイチャーセンターの中には、来園者が作った、森のアート作品が展示されています。

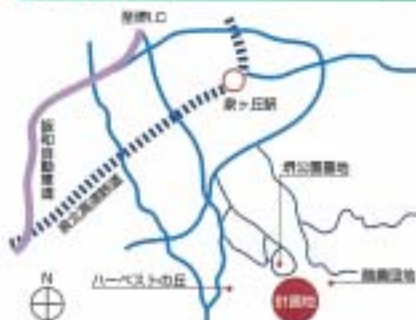
## 問い合わせ先

堺自然ふれあいの森委員会 事務局  
堺市 公園整備課  
TEL:072-228-8174 FAX:072-228-1336

## ホームページアドレス

<http://sakaisatoyama.cool.ne.jp/>

## アクセス方法



泉北高速鉄道  
泉ヶ丘駅下車

南側2番のりば  
鉾ヶ峯行き  
公園基地北口下車  
(約20分)

